

窒化シリコン薄膜
熱伝導率を倍増

東大生研

東京大学生産技術研究所のユンフィ・ウー特任研究員と野村政宏准教授らはこのほど、光と振動を量子化した準粒子フォノンの混合状態である表面フォノンポラリトンを使い窒化シリコン薄膜の熱伝導率を倍増することに成功したと発表した。新しい放熱機構として半導体デバイスの高性能化への貢献が期待されるという。科学技術振興機構（JST）戦略的創造研究推進事業の成果。

産業新聞2020年10月12日付11面